

魅了！中部航空音楽隊が中学校へ出張演奏指導

自衛隊静岡地方協力本部浜北募集案内所（所長・星香織2等陸尉）は6月30日（木）、浜松市立佐久間中学校において行われた、航空自衛隊中部航空音楽隊（浜松基地）による佐久間中学校芸術部と水窪中学校クリエイティブ部への吹奏楽演奏指導を支援した。

この演奏指導は、音楽隊の隊員から専門的な指導を受け、演奏技術の向上を図ることを目的としている。当日は、両部の部員合わせて7人と指導に当たる音楽隊員7人が集まった。

開始前に「楽器を演奏することが楽しくなれるように頑張りましょう」と隊員が声をかけると、生徒たちは「よろしくお願ひします」と大きな声で挨拶し、技術習得に向けての強い決意がうかがえた。演奏指導では、良い音が出せるブレスや指使いに関する練習方法を学び、生徒からは「これからは教わった方法で毎日練習します」「二つ二つの音をしっかりと出すこと、それを旋律として表現できるように頑張りたい」といった意欲ある声が聞かれた。

最後に、音楽隊による数曲のミニコンサートが行われると、「音楽隊のようなプロの演奏が聞ける機会はめったにないので、すごく嬉しい」「私たちがこのような素晴らしい演奏が本番でできるようにしたい」など、音楽隊の演奏に感銘を受けるとともに更なる技量の向上を決意しているようだった。

浜北所は、生徒たちが挑戦・努力する姿勢を応援し、音楽の力などを通じて引き続き自衛隊の魅力を発信していく。



江西中学校の生徒が自衛隊の仕事を実感

自衛隊静岡地方協力本部浜松出張所（所長・村上雄一3等空佐）は7月12日（火）と13日（水）、浜松市立江西中学校の職場体験学習を支援した。

これは、働く人の姿を間近に見ながら実際に仕事を体験することで、働くことの意義を知ることが目的として行われたもの。今回は2年生9人が参加した。

初日は、浜松出張所のある浜松合同庁舎（浜松市）において、広報官が自衛隊の広報業務について説明するとともに、非常時に役立つロープワーク体験やイベントの際に配布する缶バッジの作成体験を行った。また、航空自衛隊浜松広報館エアパーク（同市）に移動し、航空自衛隊の概要や歴史、多種多様な航空機などについて知識を深めた。

2日目は、航空自衛隊御前崎分屯基地（御前崎市）を訪れた。基地の担当者からリーダーサイトの役割や任務について話を聞いた後、自衛官の仕事として、車両のタイヤ交換や補給物品の梱包作業、消防服を試着して基地消防車の放水作業を体験した。

参加した生徒からは「リーダーサイトが日夜日本の空を見守ってくれていることを知った」「車両整備に興味を持つことができた」「消防服は重くて暑く、消防の大変さがわかった」といった感想が聞かれた。

浜松所は、今後もこのような体験学習を通じて若者の自衛隊への理解促進に努めていく。

